東日本

脱下請け〝へ販社設立

東京・大田区の異業種交流会

技術生かし独自製品投入

東京都大田区の中小企業で構成する異業種交流会、脱下請けプロジェクト（鈴木正博代表＝協立工機社長、03・3743・3361）は、販売会社「ディープロジェクト」を設立した。同交流会で作製した製品の販売を本格化。将来は会員以外の企業を含めて税務、総務などの間接業務を代行することも視野に入れている。販売面などで中小企業の負担を軽減することにより、技術力を生かした独自製品の開発を後押ししていく。

新会社は同プロジェクトのメンバー3社のほか人材派遣などを手がけるエヌエフエー（東京都大田区）が出資して設立。協立工機内に本社を置き、社長にはエヌエフエーの大崎玄長社長が就任した。資本金は310万円で、初年度1000万円の売り上げを目指す。売り上げ拡大に応じ、専任者を採用していく。

同プロジェクトは、参加企業の技術力を結集させる目的で結成。これまで広告用の回転式電子看板「デジタルサイネージ」や、車いすに対応したキオスク端末「ユニバーサルデザイン・キオスク」などを製作してきた。新会社はこうした独自製品の販売を手がける。

新会社では今後、税務などの間接業務の代行に乗り出すことも視野に入れており、同プロジェクトの会員以外の企業からも業務を請け負う計画。大崎社長は「中小企業の負担を軽減し、研究開発に専念できる環境を整えたい」と話している。

自立運営狙い会員募集

群馬のものづくり研究機構　まず50社目標に

【前橋】地域産学官連携ものづくり研究機構（群馬県太田市、清水聖義理事長＝太田市長、0276・25・5300）は、年内に賛助会員の募集を始める。企業は年間2万円、個人は同2000円となる予定で、会員50社が当面の目標。2009年1月設立の同機構は、これまで技術相談や現場改善指導、研修会を通じて地場の中小・中堅企業を支援してきた。これらの活動に対する理解と支援を募り、運営資金で自立化を図る。

同機構は太田市と太田商工会議所が設立。群馬大学工学部の元教授や企業OBらが所属する。これまで太田市や経済産業省からの補助金などで運営してきた。11年4月にはプレス機や工作機械、計測器を導入する施設が稼働。設備貸し出しや、施設内での人材研修事業でも収入が見込まれる。

スマートグリッド参入へ

東北経産局　情報連絡会議を開催

【仙台】東北経済産業局は26日13時半から、仙台市青葉区内の仙台青年文化センターで、「第1回東北地域スマートグリッド情報連絡会議」を開く。スマートグリッド（次世代電力網）に関心がある産学官の関係者を集め、同分野への参入や新事業創造の方向性を探る。

スマートグリッドに対応した家電や発電装置の開発、エネルギー管理システムの構築などが新たな事業機会とみている。同会議では、経済産業省による基調講演、東芝、オムロンの担当者による事例発表、「東北地域産業のスマートグリッド市場への参入の可能性を探る」をテーマとする討論会を予定。

定員550人、参加無料（交流会は会費制）。申し込みは19日までに同局エネルギー課（022・221・4932）へ。

商工会議所が臨時議員総会

新副会頭に宮村氏ら5人　東商

東京商工会議所は1日開いた臨時議員総会で、宮村真平三井金属会長ら5人を新副会頭に正式に選任した。また台東支部など5支部の新しい会長を正式決定した。就任はいずれも同日付。任期は3年。

新しい副会頭、支部会長は次の通り。

【副会頭】宮村真平三井金属会長、石井卓爾三和電気社長、鳥原光憲東京ガス会長、福井威夫ホンダ取締役相談役、杉山清次みずほフィナンシャルグループ特別顧問

【支部会長】▽台東＝小田切満寿雄オダギリ会長▽渋谷＝多田修人日本システムウエア会長▽中野＝浅沼雅海アサヌマコーポレーション会長▽豊島＝鈴木正美末広サービス社長▽江東＝網代良太江東信用組合名誉会長

新会頭に鎌田氏　仙台会議所

鎌田氏

【仙台】仙台商工会議所は1日、臨時議員総会を開き、10月末に任期満了で退任した丸森仲吾会頭（77、七十七銀行相談役）の後任に、七十七銀行会長の鎌田宏氏（69）を選出した。任期は1日から2013年10月末までの3年間。七十七銀頭取経験者の会頭は3代連続となる。

新会頭に早川氏　足利会議所

【宇都宮】栃木県の足利商工会議所は1日、臨時議員総会を開き、菊地義治会頭（73）の後任に早川慶治郎足利フラワーリゾート社長（66）を選出した。同日付で就任。

早川氏

また副会頭に相馬稔両毛ヤクルト販売社長、深井孟深井製作所社長、森田作雄足利印刷社長を新しく選任し、篠田洋行足利小山信用金庫理事長を再任した。任期は3年。

新会頭に北村氏　宇都宮会議所

北村氏

【宇都宮】宇都宮商工会議所は1日開いた臨時議員総会で、北村光弘横倉本店会長（68）を新会頭に選出した。同日付で就任。また副会頭に斎藤高蔵斎藤商事社長、増渕正二フタバ食品社長を新しく選び、藤沢智足利銀行頭取、須賀英之宇都宮共和大学学長を再任した。任期3年。

4期に渡って会頭を務めた簗郁夫福田屋百貨店会長（76）は名誉会頭に就任した。

新会頭に石井氏　千葉会議所

石井氏

【千葉】千葉商工会議所は1日、臨時議員総会を開き、千葉滋胤会頭（ケーブルネットワーク千葉会長、77）の後任に、石井俊昭副会頭（千葉銀行顧問、68）を選出した。任期は1日から2013年10月末までの3年間。石井氏は8日に開かれる千葉県商工会議所連合会の臨時議員総会で会長に選出される見通し。千葉氏は00年9月1日に就任し、会頭を4期10年務めた。

東京・文京区で企業誘致説明会

新エネ講演　秋田県知事が立地環境紹介

秋田県は企業誘致説明会「あきたリッチセミナー　INTOKYO」（日刊工業新聞社後援）を、29日15時半から東京都文京区の椿山荘で開く。石谷久東京大学名誉教授・新エネルギー導入促進協議会代表理事による「新エネルギー導入に関わる最近の動向」をテーマにした講演のほか、佐竹敬久知事らによる秋田県の立地環境に関する紹介などで構成する。入場は無料。

申し込み・問い合わせは秋田県産業労働部産業集積課（018・860・2251）、または秋田県企業立地事務所（03・5212・9112）へ。

みちのく産業紀行　▶7

東北のモノづくり企業

福島製作所

100周年に向け新経営計画

低油圧式甲板機械、アジアに拡販

アンカーハンドリングウインチが搭載された作業船▲……清掃工場向けでは国内トップの約60%のシェアを占める。また、同社では納入した船舶用機械・グラブバケットの修理・部品交換などアフターサービスが売り上げの約3割を占め、大きな経営資源となっている。

リーマン・ショックの影響で、この2年間は受注契約のキャンセル・一部延期などで、利益は確保しているものの厳しい状況が続いている。今年3月から7月に韓国・中国向けで約25億円の甲板機械を受注し明るさが見えたのもつかの間、「引き合いはあるが、このところの円高による値引き・ドル建て要請などで、競争力が低下し予断を許さない状況にある」と立石社長は受注環境の悪化を危惧する。

今年、創業100周年に向けて長期経営計画「ワインドアッププロジェクト100」をスタートした。立石社長は「当社の特徴・強みを出せる低油圧式甲板機械を、今後も国内企業を中心にアジア諸国へ拡販していく」と強調。アフターサービス体制の強化に加え、2016年に大幅な削減が義務づけられる船舶の大気汚染ガス規制に対応した、環境機器開発など新規事業も推進し、ビジネス領域の拡大による経営基盤の一層の強化を目指す。

▽社長＝立石吉識氏▽所在地＝福島市三河北町9の80、024・534・3146▽資本金＝4億9000万円▽売上高＝76億9000万円（10年3月期）▽従業員＝246人▽設立＝1920年（大9）3月

（火曜日に掲載）

立石社長

福島製作所は、船舶用機械を主力製品とする宇部興産機械のグループ会社。1920年（大正9）に機械鋳物の工場として創業し、今年で90周年を迎えた。船のいかりを巻き上げる揚錨機、船が接岸する際に使用する係船機などの甲板機械に加え、海底油田のリグ（掘削基地）を移動・設置する際の支援作業を行うサプライボート用のアンカーハンドリングウインチなどを製造している。

同社が船舶用大型機械に採用している低油圧式は耐久性・安全性・操作性に優れ故障が少ないのが特徴で、長期就航し高額な船舶ではコストパフォーマンスが高いという。立石吉識社長は「これまで50年間で5500隻以上の船舶に搭載され、国内外のオーナー企業からの信頼も厚い。次も『ふくしま』との指名も多い」と実績と技術力の高さに自信を示す。

モノづくり継承　貢献者11人表彰　長野・坂城町

【長野】長野県坂城町は、このほどモノづくりの技能・技術継承や人材育成に貢献した人を表彰する「坂城WAZAパワーアップ事業表彰」の表彰式（写真）を開催した。同表彰は町で培われてきた技能を尊重する機運を高めるため、今年度初めて創設された。

「卓越技能者賞」に選ばれたメッキ加工の中嶋丈吉力石化工常務（66）は「メッキ加工は五感を研ぎ澄ますことが大事。今でも現場で試行錯誤を続けている」と技能継承の重要性を強調した。同賞は技能が優秀で人材育成に寄与した50歳以上の人を表彰する。

各賞の受賞者は次の各氏（カッコ内は企業名）。

【卓越技能者賞】▽中嶋丈吉（力石化工）▽風間弘明（日精樹脂工業）

【優秀技能者賞】▽吉池茂雄（都筑製作所）▽下崎芳明（同）▽福島靖（日精樹脂工業）

【新技術・発明賞】▽真壁隆樹、浦川敦史、大池弘（栗林製作所）▽真柴真俊、青木忠雄、孫海（同）

フラッシュ

◆障害者雇用促進シンポ　千葉県

12日13時半から、千葉市中央区の千葉市ハーモニープラザで障害者雇用促進シンポジウム「その最初の一歩を踏み出すために～その一歩を温かく見守る目がきっと見つかる」を開く。中島隆信慶応義塾大学教授が「経済の視点から障害者雇用を考える」と題した基調講演などがある。障害者を雇用した県内企業の担当者らが参加する交流会も開く。定員200人、入場無料。問い合わせは県商工労働部産業人材課（043・223・2756）へ。

◆木更津東支店を移転　千葉銀行

2011年11月にJR木更津駅東口駅前の木更津東支店（千葉県木更津市）をほたる野地区へ移転する。ほたる野地区は現店舗から東へ約3・3キロメートルの新興住宅地で、人口増加が著しいことから移転を決めた。現店舗はリニューアルし、現在同駅西口にある木更津支店（同）を移す。木更津支店の跡地利用については未定。

◆神奈川県央業況　改善続く　日本政策金融公庫

厚木支店がまとめた神奈川県央地区の景気動向調査によると、7－9月期の業況判断DI（「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いた値）は、前期（4－6月）比3・3ポイント改善の37・1となった。改善は3期連続。全7業種中、小売業や飲食業など4業種が上昇し、製造業や建設業など3業種で低下。製造業の業況判断DIは25・0で前期比1・9ポイント悪化した。10月に221社を対象に実施し、155社から回答を得た。

◆経営研究集会を開催　神奈川県中小企業家同友会

（横浜市中区、045・316・2031）10日14時半から川崎市幸区の川崎市産業振興会館で「2010（第23回）全県経営研究集会」を開く。小出宗昭イドム社長が「新規ビジネス・新商品はこうして挑め～セールスポイントを活かした中小企業の勝ち残り戦略とは」と題して講演する。定員300人で参加費5000円（懇親会含む）。問い合わせは共催の浜松地域テクノポリス推進機構（053・489・8111）へ。

◆印・中国市場講演会　静岡大学

5日13時から、浜松市中区のグランドホテル浜松で「グローバル イノベーション フォーラム2010」を開く。繁田奈歩インフォブリッジホールディングス社長が「注目されるインド・中国市場と日本企業の海外戦略」と題して講演する。またカナダ・ヴィクトリア大学イノベーション・アンド・デベロップメントのプレント・スターニグ社長兼最高経営責任者（CEO）のセミナーやパネル討論なども行う。定員130人。入場無料。問い合わせは共催の浜松地域テクノポリス推進機構（053・489・8111）へ。

ラウンジ

米粉が地域を救う

斉之平さん

▽…「県産米『彩のかがやき』を使った米粉商品の開発・販売事業が関東経済産業局の地域産業資源活用事業計画に認定された」と話すのは、三州製菓（埼玉県春日部市）社長の斉之平伸一さん。

▽…「現在、米粉100%のドーナツやライススティックなどを開発中」。つなぎを使わずに商品化するのは大変だが、「アレルギーの方にも安心して食べてもらいたい」という。

▽…猛暑の影響で規格外の彩のかがやきが続出する中でも、「地域貢献につなげたい」とあくまで意欲的。米粉は地域を救う原動力になるのか、注目されそうだ。（さいたま）

お問い合わせ・情報は各支社・総局へ
仙台 022・225・8734　東京 03・5644・7286
さいたま 048・872・2281　横浜 045・201・7421

産業人クラブ入会のご案内

～ビジネスチャンスを産む異業種交流・研修活動～

入会のご案内

産業人クラブ（旧日本工業会）は昭和30年11月に発足、以来常に時代に即応した組織に軌道修正しながら、いつの時代でも中堅・中小企業経営者が一番必要とする問題点をとらえ、講演会、研究会、工場見学会、国際交流などを実施するとともに、そのときどきの情報を提供して会員の皆様の経営に役立つような事業を展開して参りました。

ご承知のとおり、わが国産業界は、めまぐるしく変化する国際社会のなかにあって、その動向が世界各国から注目されております。とりわけ最近は、経済のグローバル化、情報化の進展などにともなって、産業構造の変化もはげしく、的確で迅速な情報の入手が不可欠となっております。

各産業人クラブは全国にある17の産業人クラブ（会員数1800名）と、密接な連携をとりながら、先進的な活動を行っております。

こうした事業は必ず皆様の経営にお役に立つものと思われます。

皆様方のご入会を心よりお待ちしております。

産業人クラブ
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
日刊工業新聞社内
TEL.03-5644-7284　FAX.03-5644-7249

活動のあらまし

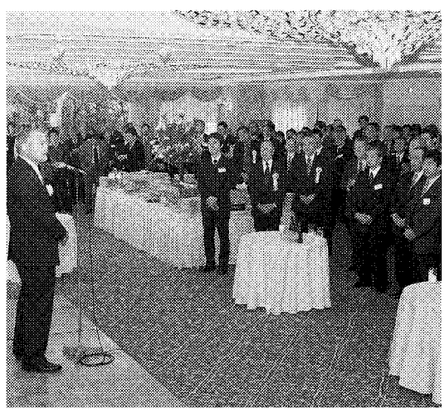
●講演会の開催
産業界はじめ各界で活躍している著名人を招き、政治、経済、外交、産業、科学技術など、その時々の問題をとらえて企業経営に役立つ講演会を開催しています。

●経営研究会の開催
会員相互のコミニュケーション・異業種間交流に重点をおき、経営、技術、商品開発などを中心に企業経営者の相互開発の場をつくります。また、会員による意見発表ならびに日刊工業新聞記者による産業情報を随時提供し、会員の参考に供するほか、懇親会による交流を深めています。

●工場見学会の開催
各種の試験研究機関ならびに新技術、生産設備の進んだ先端的な工場を対象に、企業経営に役立つ見学会を実施しています。

●分科会活動の実施
会員間のキメ細かな情報交換・交流を深めるため分科会を組織し、積極的な事業展開を行っています。

●ゴルフ大会の開催
会員相互の親睦と健康増進をはかるため、各地域の名門コースで開催しています。



ホームページで各クラブ活動を紹介しています。……
http://www.nikkan.co.jp/club/index.html

……日刊工業新聞に月1回(予定は第1金曜日) 1ページの産業人クラブ面「かけはし」を掲載しています。過去の「かけはし」もご覧になれます。